

油流出対応の 新たな展開

+ 参考事例

2024年2月15日
PAJ 油流出ワークショップ2024





目次

ITOPF（国際タンカー船主汚染防止連盟）とは？

世界の流出傾向

新しい動向

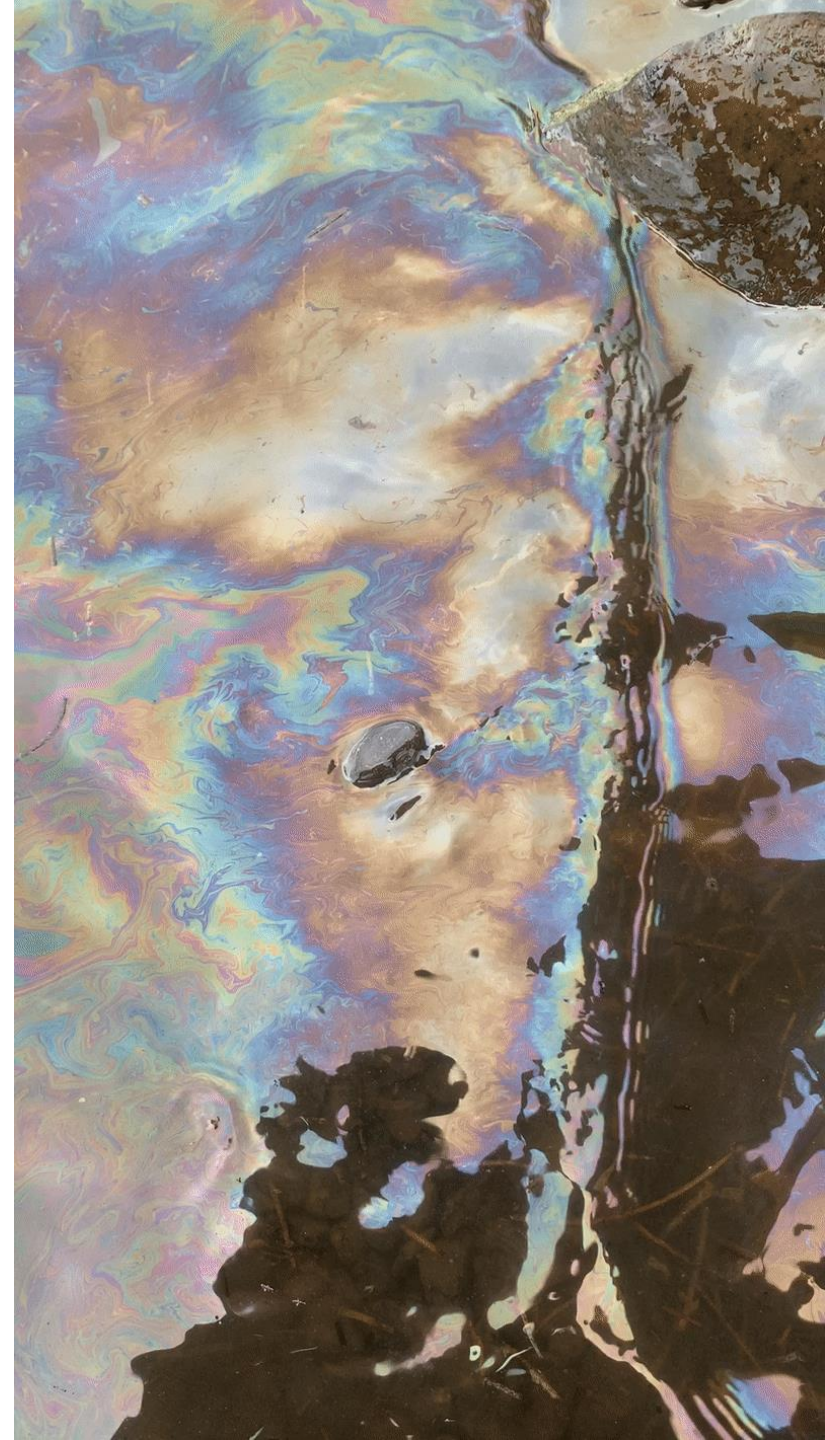
事例：
プリンセス・エンプレス号

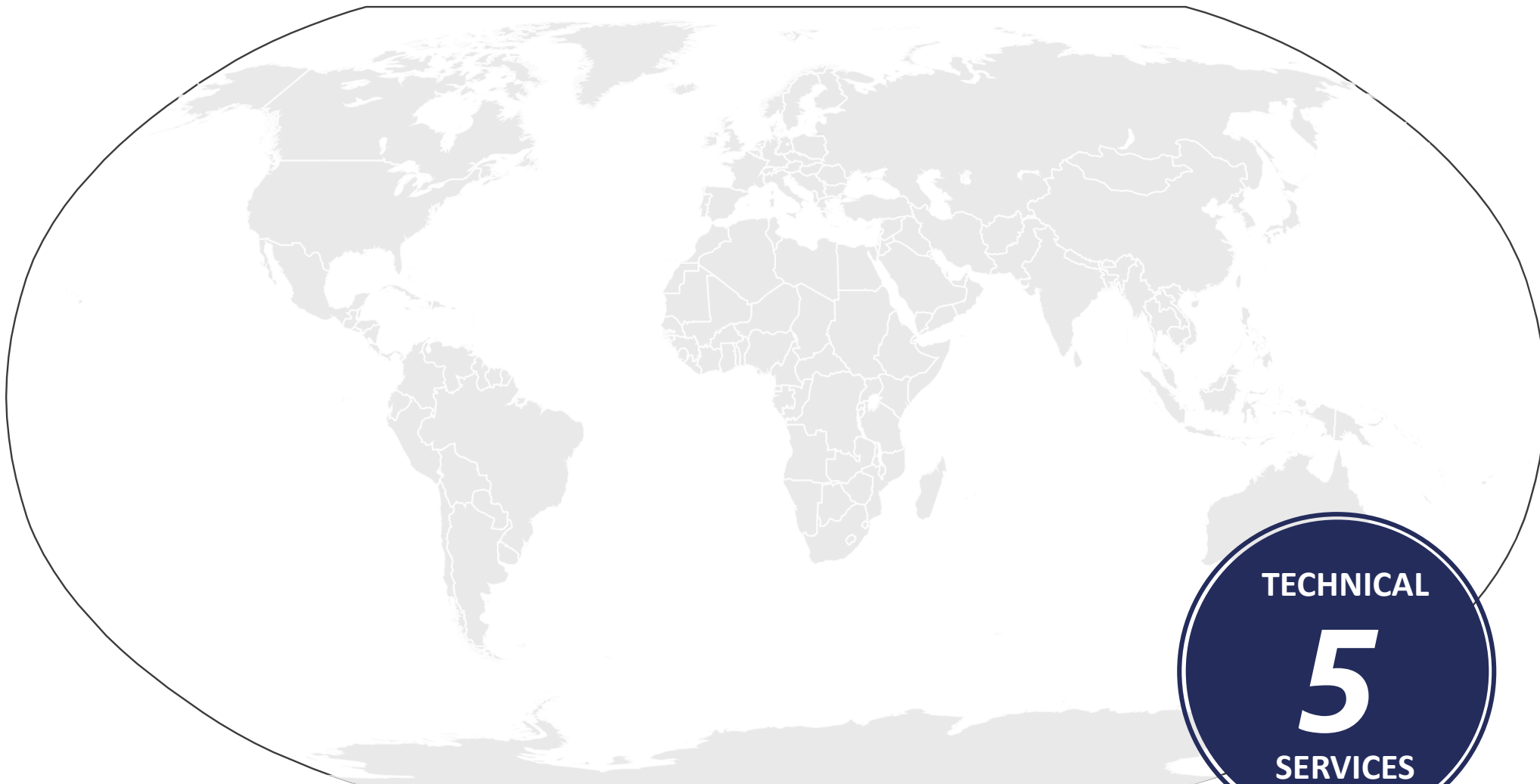


ITOPFがめざすこと:



PROMOTING EFFECTIVE
SPILL RESPONSE





TECHNICAL
5
SERVICES





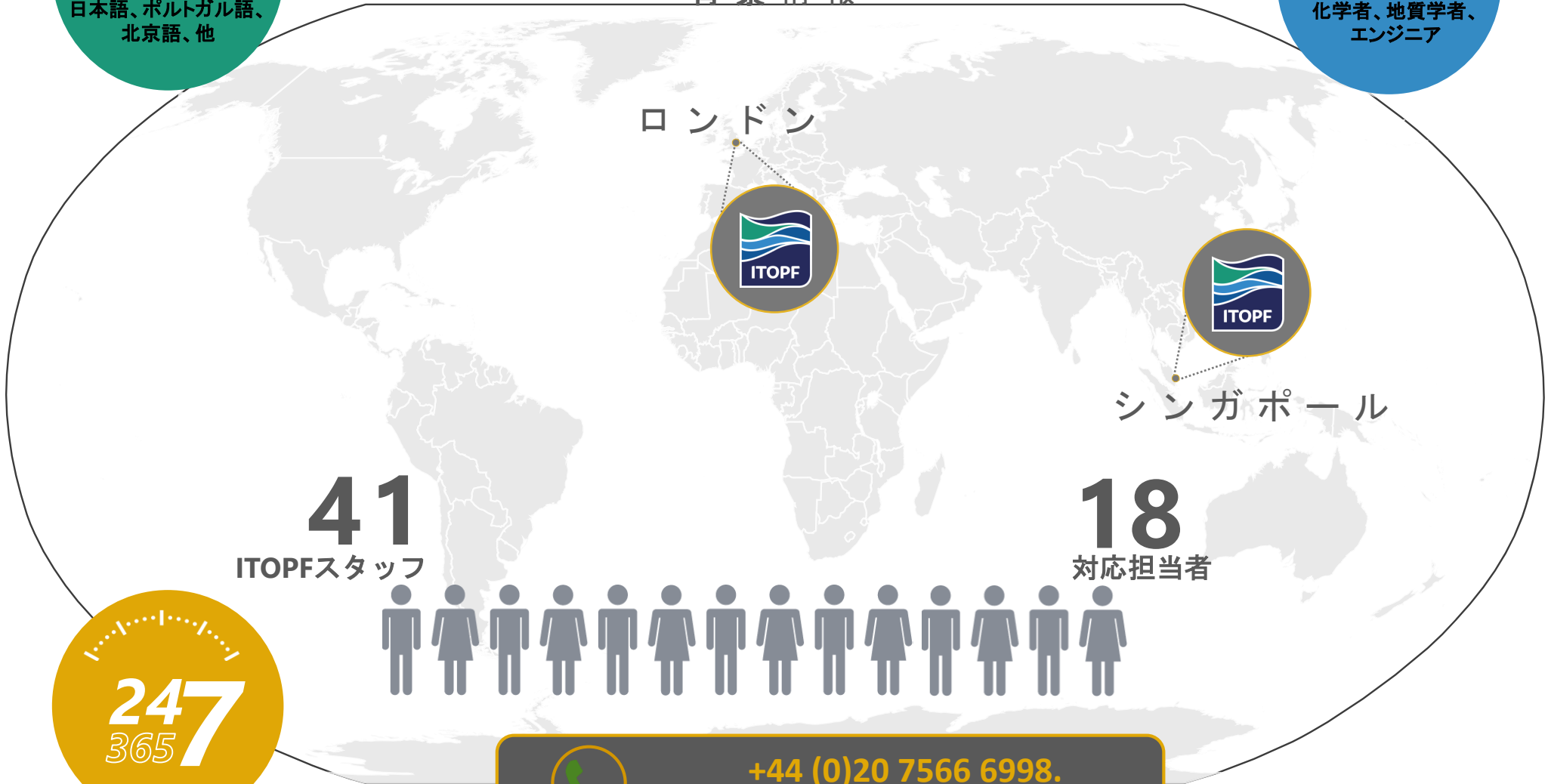
マルチリンガル
英語、スペイン語、
日本語、ポルトガル語、
北京語、他

ITOPF

背景情報



マルチスキル
生物学者、化学者、環境
化学者、地質学者、
エンジニア



41
ITOPFスタッフ

18
対応担当者



24/7
365

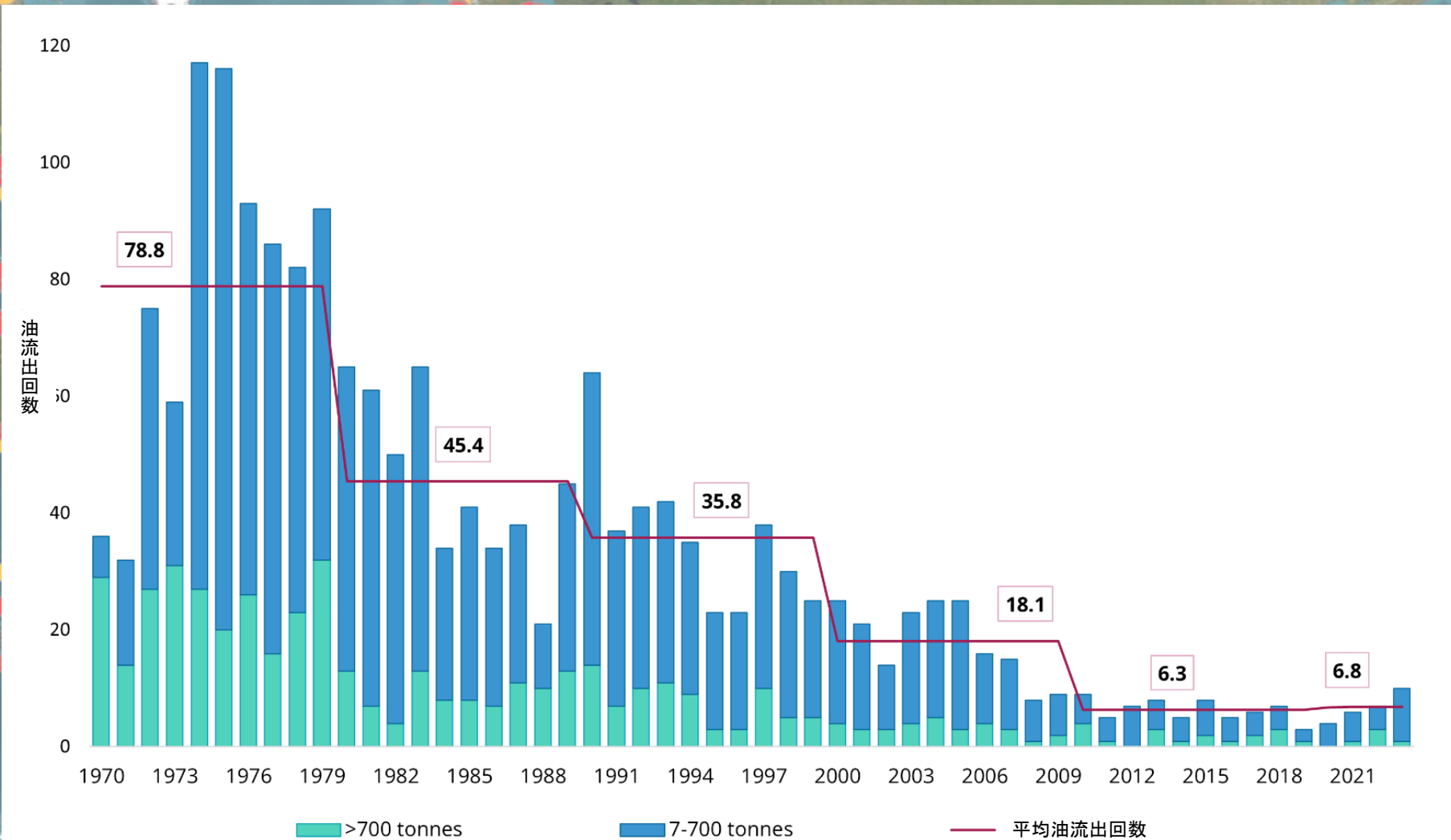


+44 (0)20 7566 6998.
(緊急時には、e mailを使用しないで下さい)



世界的な 流出傾向

1970年 - 2023年



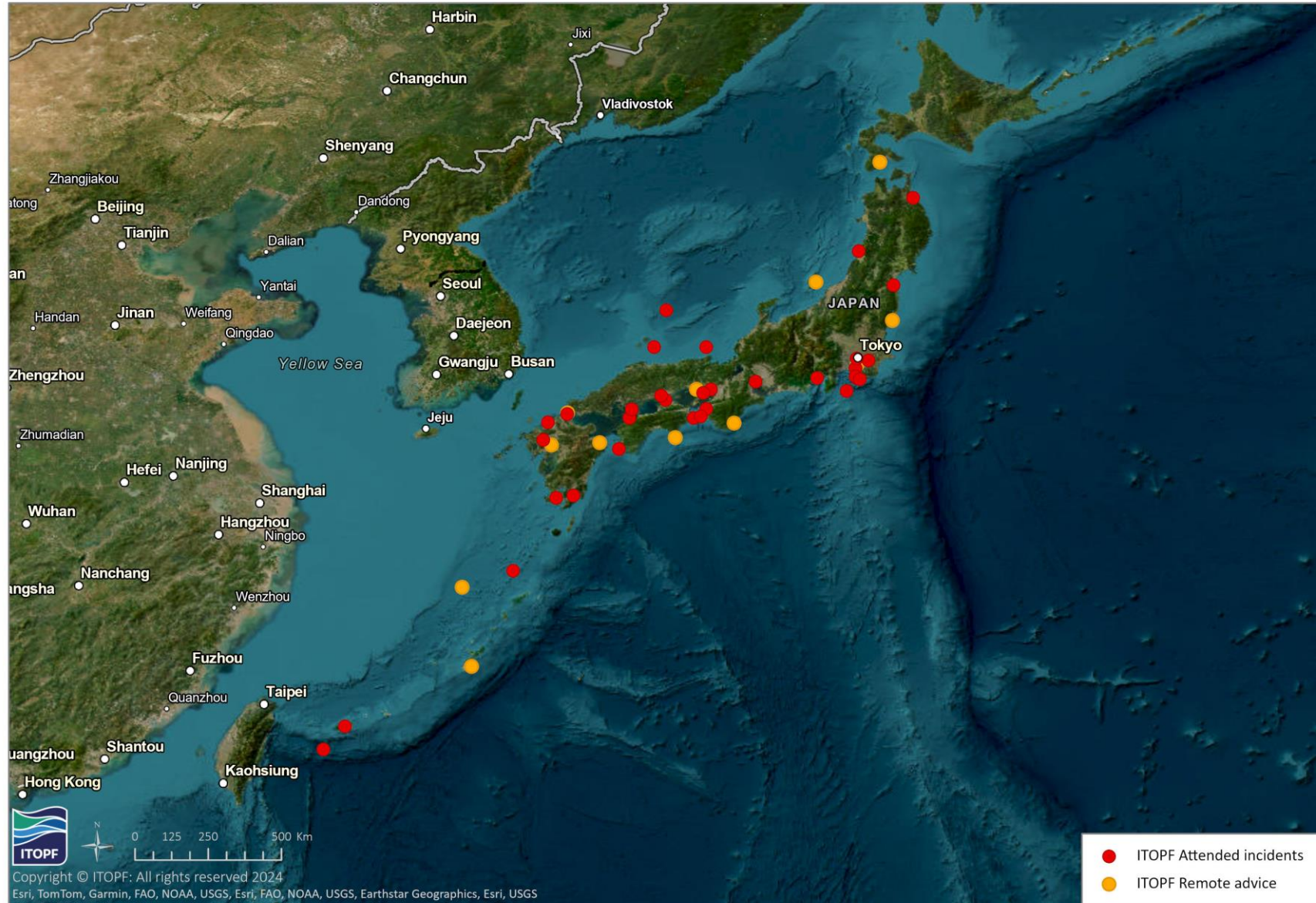


課題

準備不足
意識不足
経験不足

しかし流出事故は
起こり得るし
実際に発生する

日本におけるITOPFの活動



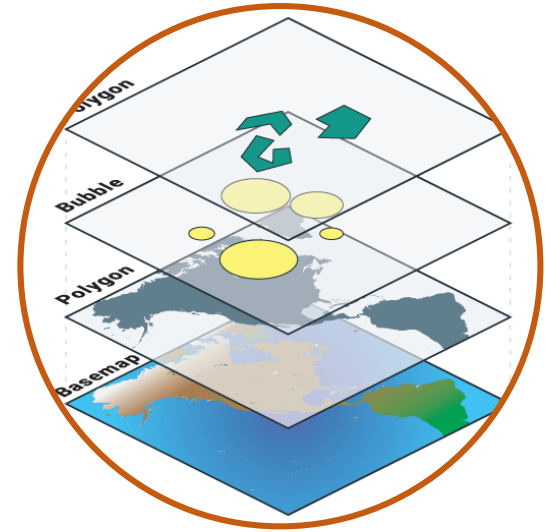
新しい テクノロジー



ドローン



人工衛星



GIS（地理情報システム）

新しい テクノロジー



ドローン



新しい テクノロジー



ドローン



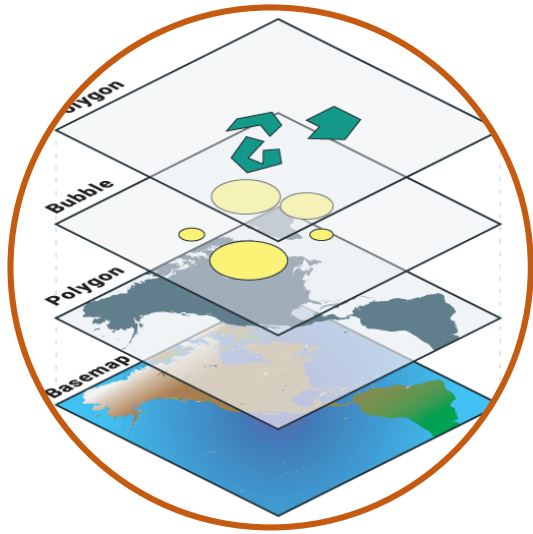
新しい テクノロジー



人工衛星



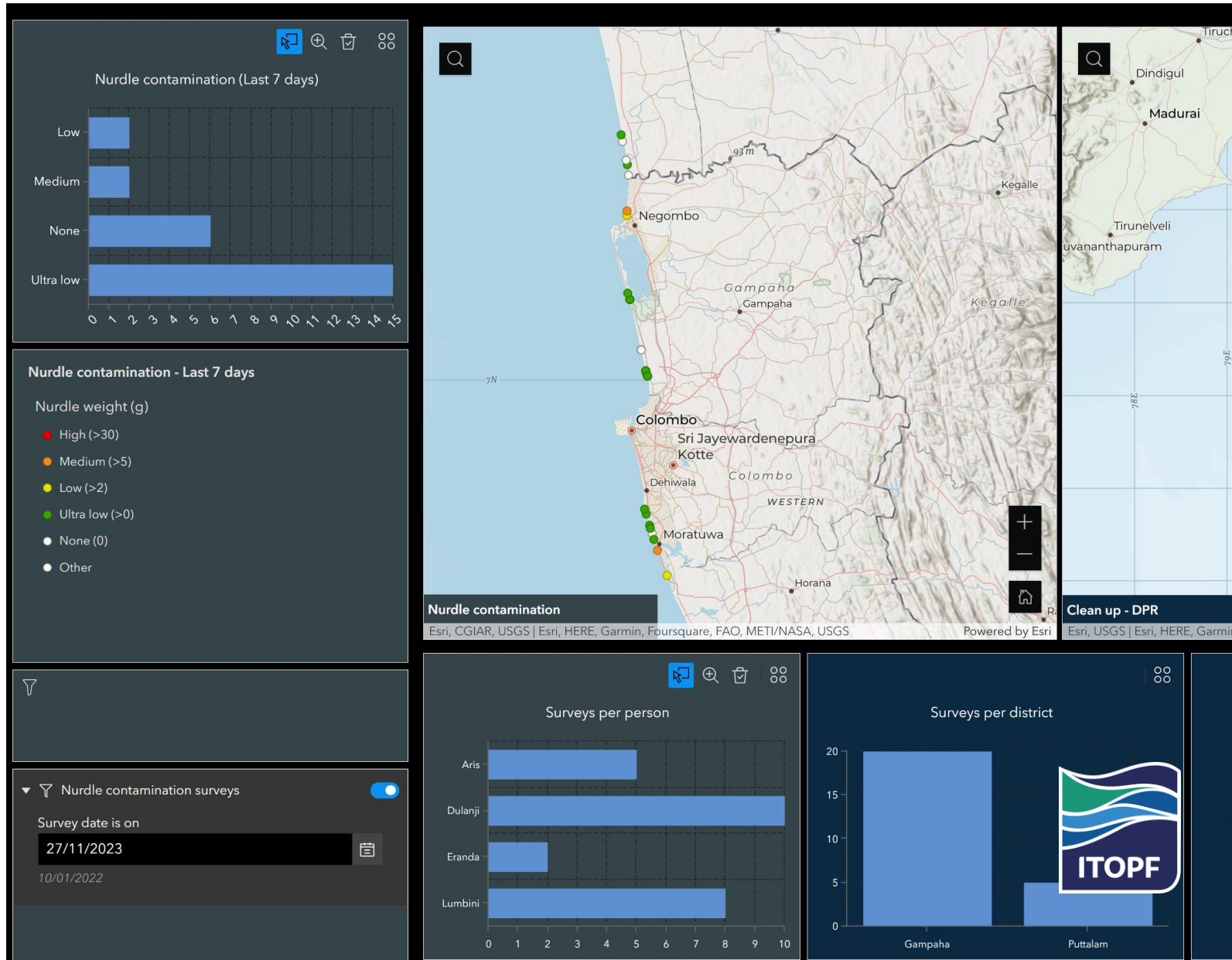
新しい テクノロジー



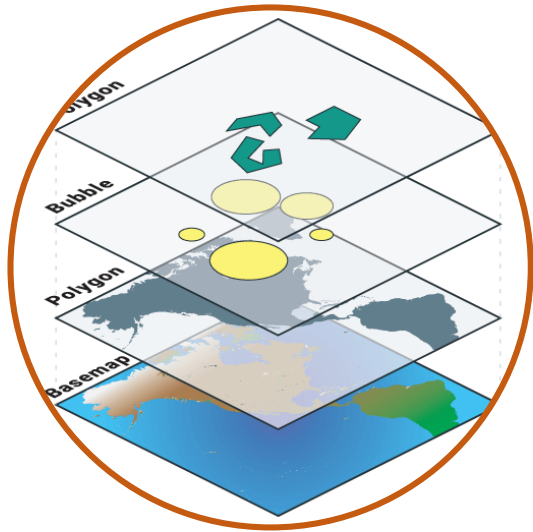
GIS



X-Press Pearl - Survey data summary (FOG)



新しい テクノロジー



GIS



X-Press Pearl - Survey data summary (FOG)

Nurdle contamination (Last 7 days)

Contamination Level	Count
Low	2
Medium	2
None	6
Ultra low	15

Nurdle contamination - Last 7 days

- High (>30)
- Medium (>5)
- Low (>2)
- Ultra low (>0)
- None (0)
- Other

Surveys per person

Person	Surveys
Aris	5
Dulanji	10
Eranda	2
Lumbini	8

Surveys per district

District	Surveys
Gampaha	20
Puttalam	5

ITOPF

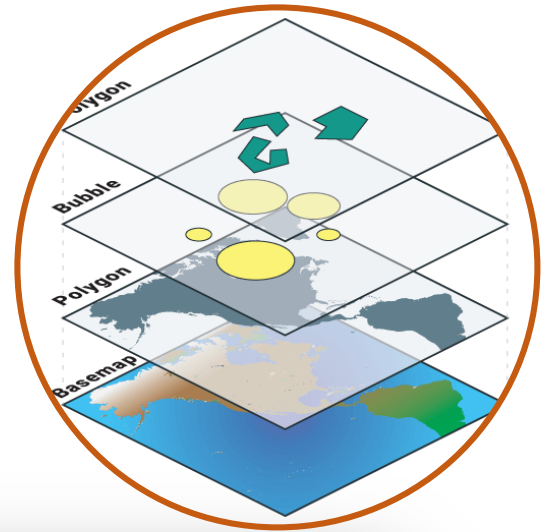
新しい テクノロジー



ドローン



人工衛星

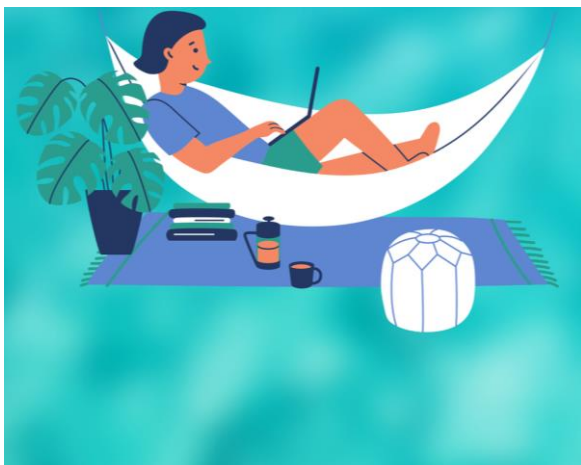


GIS



リモートでの助言 バーチャル・プラットフォーム

在宅勤務



長所

- 対策担当者とその家族の生活の質への影響を軽減する
- 時差ぼけや疲労などを回避することで、作業員のストレスや疲れを軽減し、生産性を高める
- 大規模な司令部要員の動員・支援にかかる総コストを削減できる
- 対策により発生するGHG(温室効果ガス)フットプリントを削減する

リモートでの 関与



短所

- 人間関係を構築する能力が制限され、異なる当事者間の信頼関係を築きにくくなる
- 視点が狭まり、提供する技術的インプットが限られる
- 経験の浅い担当者が重要な点を見逃す可能性がある
- トレーニングの機会が減る。

ESG

環境、社会、ガバナンス

死傷者対応における

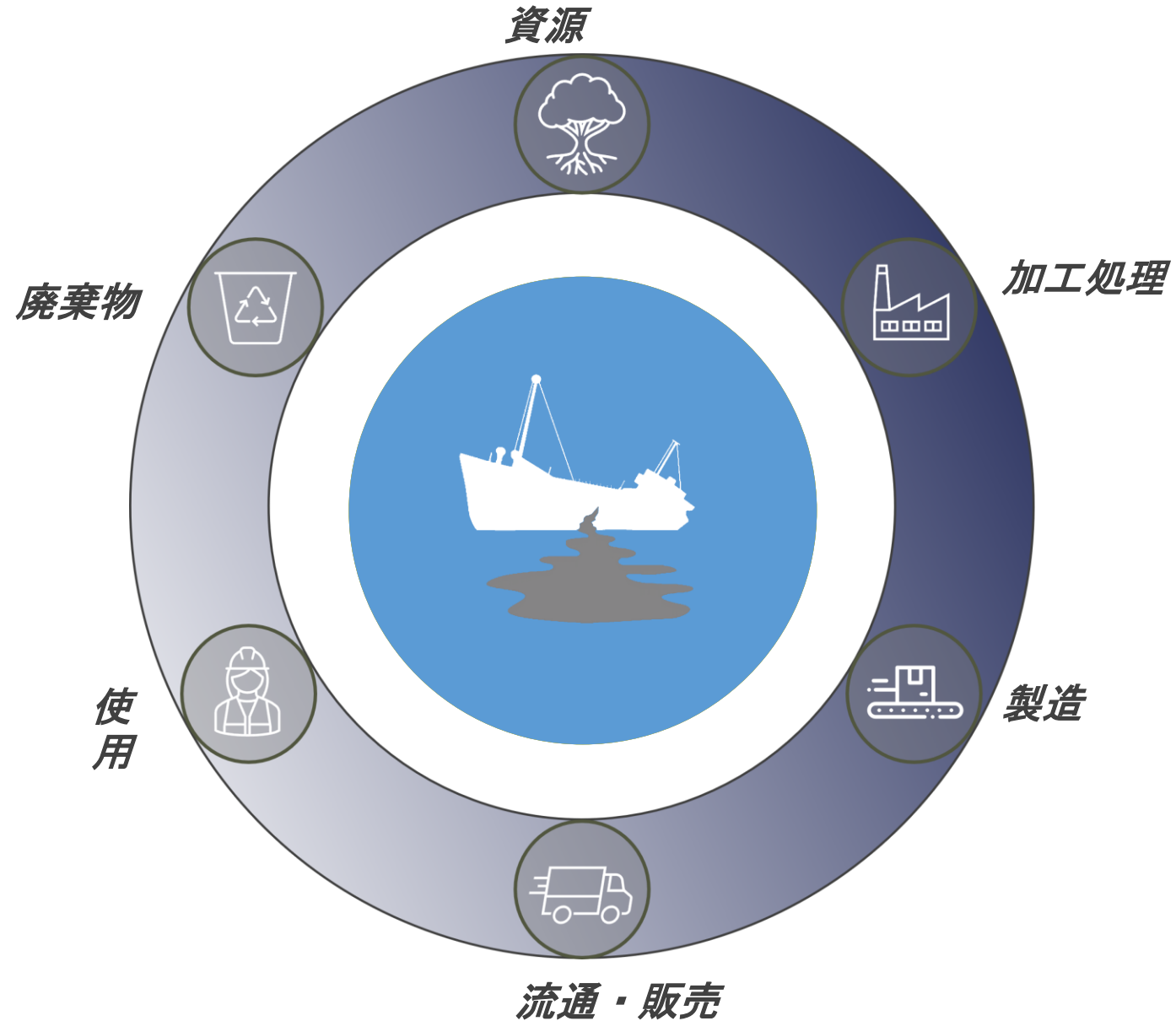
- **GHG測定**

- **ESGへの影響**
総括的な管理



ライフサイクル 分析

ゆりかごから墓場まで



潜在用途

緊急時対応計画



技術的専門知識

オペレーション



廃棄物管理

プロジェクト評価



難破船撤去



備蓄



エンドポイント



調達入札

- IMO2020年の規則で広く採用されるようになった、比較的新しい燃料
- 海洋環境における油の結末と作用について研究が進行中
- 物理的・化学的性質に由来する様々な作用

低硫黄燃料油

超低硫黄燃料油 <0.1%
 低硫黄燃料油 <0.5%
 従来型燃料油 <3.5%

パラメーター	単位	テスト結果	規格限界
濃度 15°C	kg/m3	878.9	(975.0 最大)
粘度 50°C	cSt	9.2	(30.0 最大)
流動点上限	°C	21	(24 最大)
残留炭素分	% (質量)	0.01	(10.00 最大)
引火点	°C	> 70.0	(60.0 最低)
水分	% (vol)	0.1	(0.5 最大)
硫黄	% (質量)	0.36	(0.50 最大)



ナードル

ナードルとは?

- 製品化前プラスチックペレット
- 25kg袋入り1トンパレットで出荷
- 溶けたプラスチック片と混合する



175



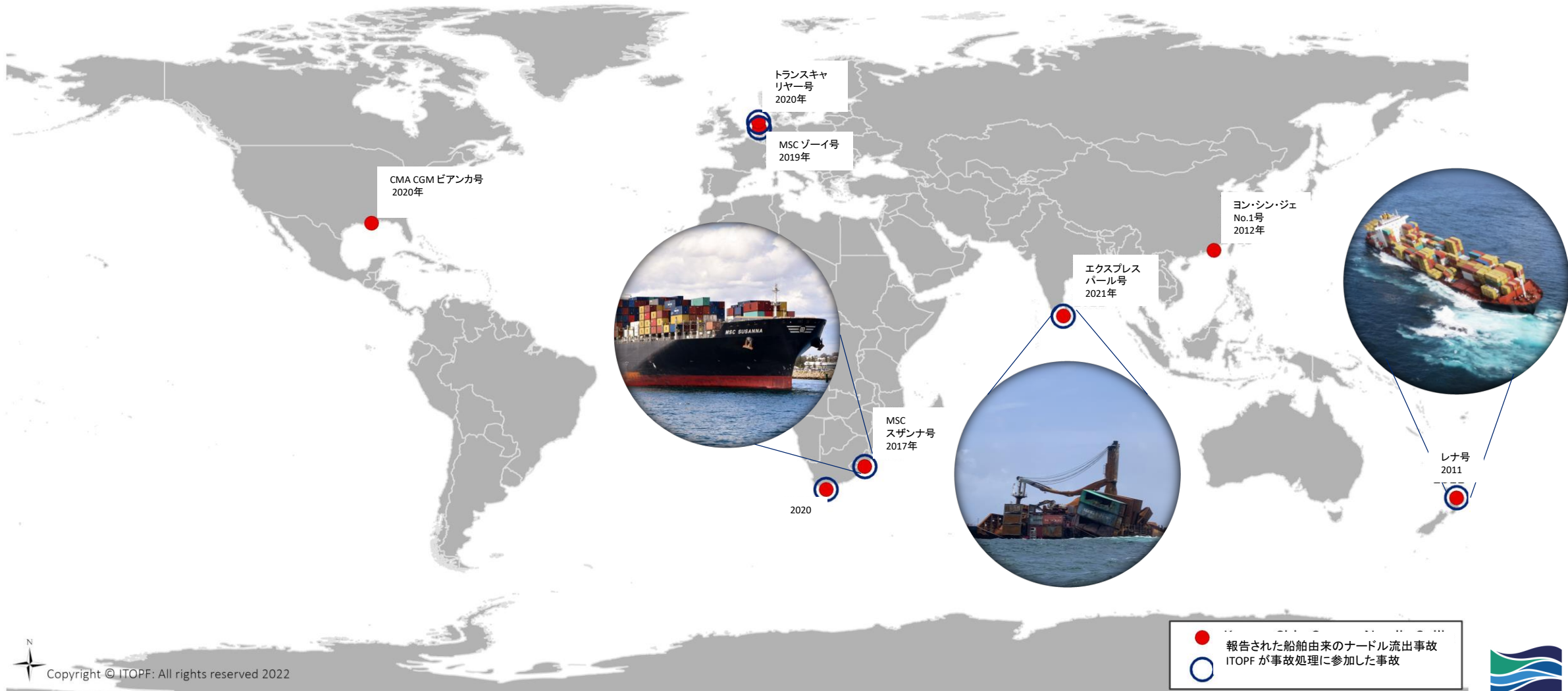
700



1,000



ナードルはどのように 流出するか？



事例：

プリンセス・ エンプレス号



バタンガス

ミンドロ島

石油タンカー、プリンセス・エンプレス号が
2023年2月28日、東ミンドロ州ナウジャン
沖8 kmで沈没

タラサ海峡



ITOPFの参加(ミンドロ):3月1日

カルヤ島

事故の背景

危惧される汚染物質

貨物: 825 MT IFO 380



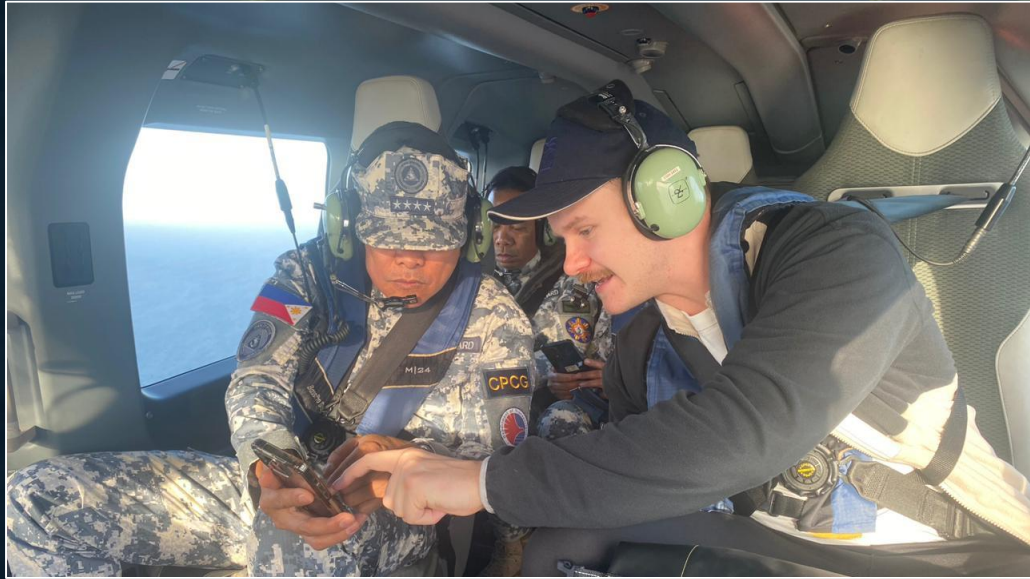
バンカー油: 113 MT ディーゼルオ
イル



漂流油 モニタリング

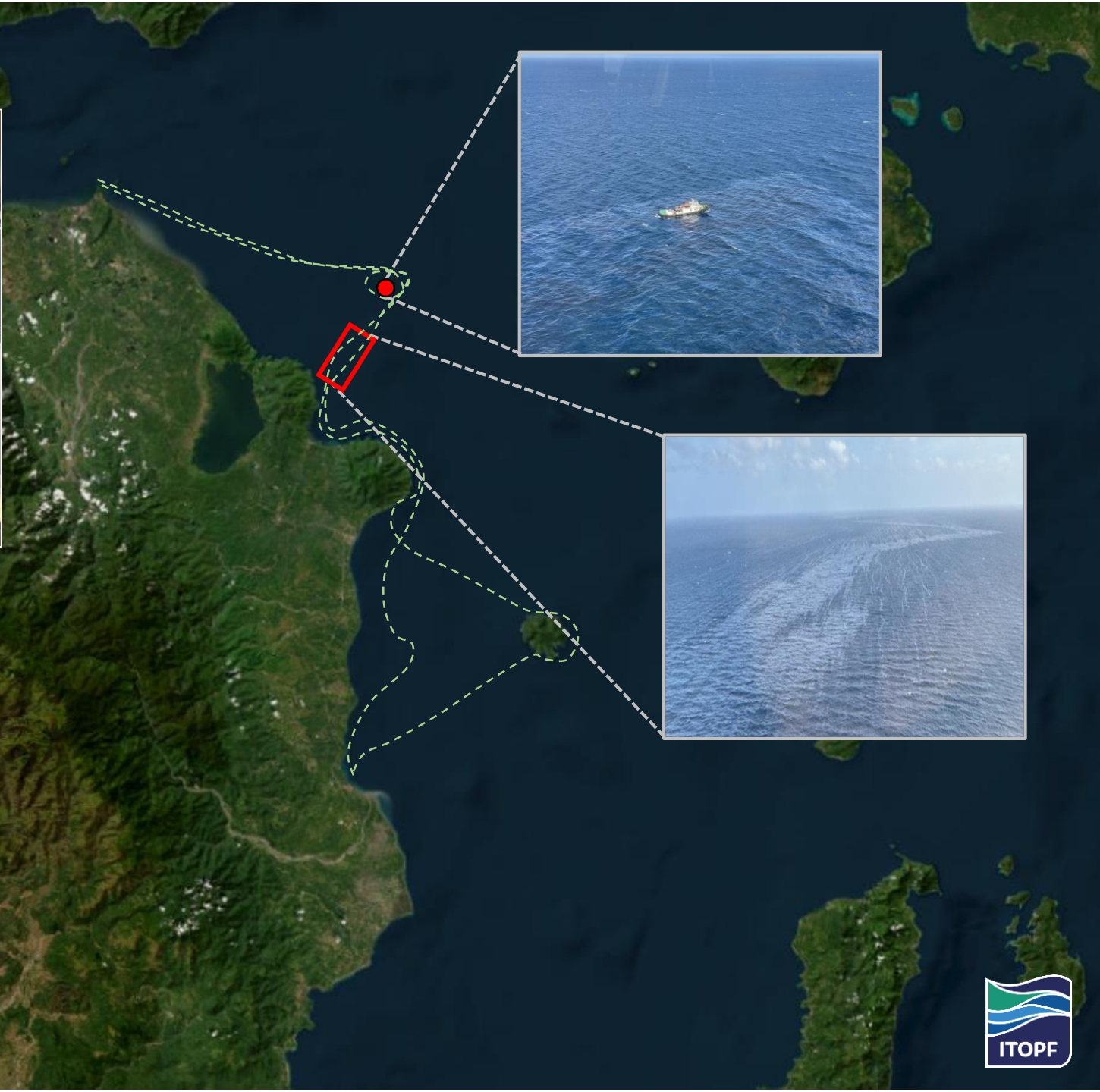
空中監視

3月3日: PCG(フィリピン沿岸警備隊)
/ITOPF合同空中監視任務

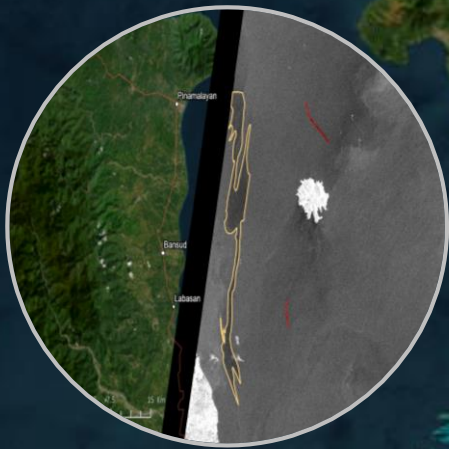


漂流油 モニタリング

空中監視



衛星画像



2023年3月1日

空中監視



2023年3月1日 現地時間13:52

空中監視



2023年3月4日 現地時間11:22

TABLASURAIT
海峡

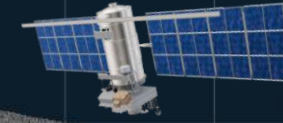
油流出による
汚染範囲

油流出による 汚染範囲

西ビサヤ

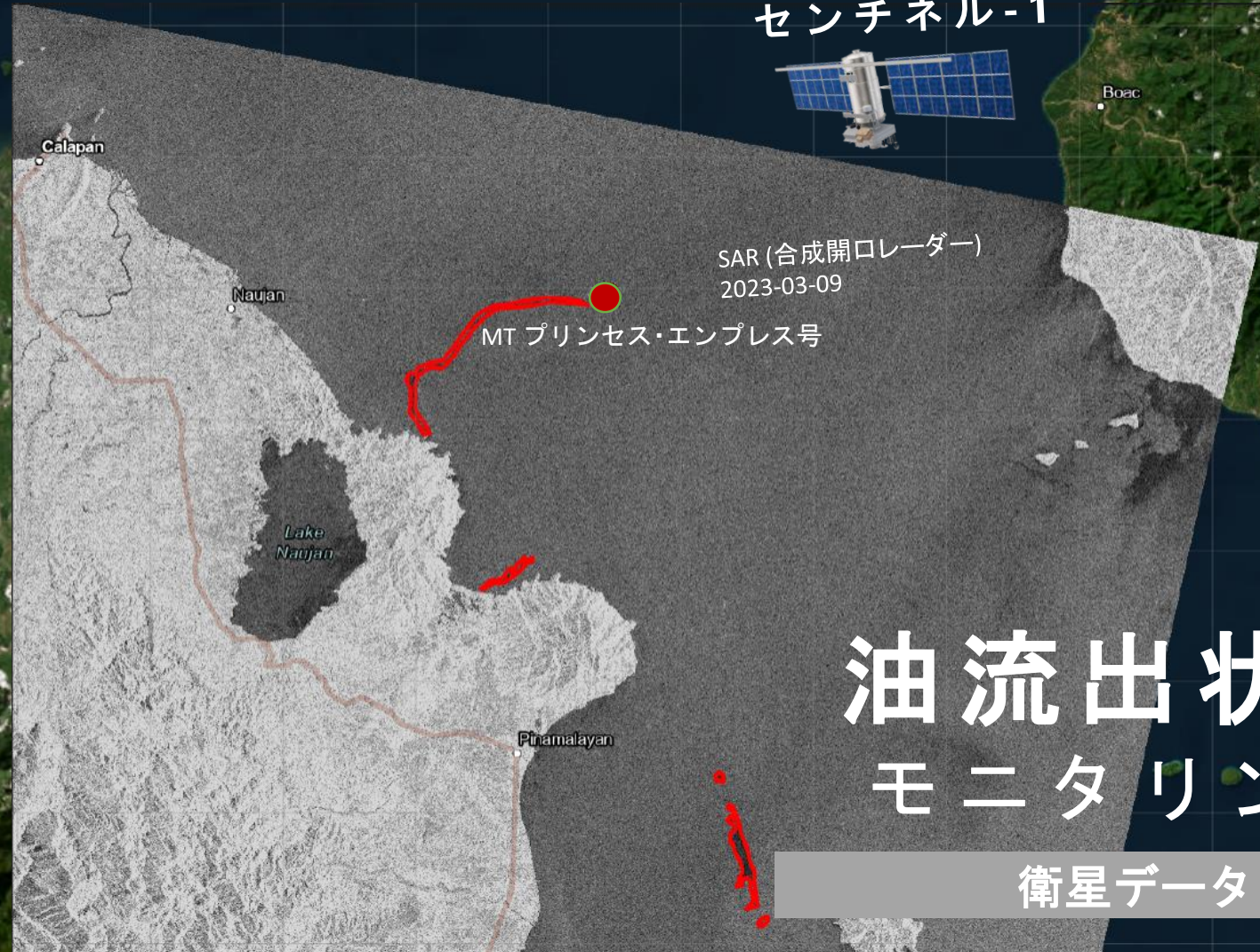


センチネル-1



SAR (合成開口レーダー)
2023-03-09

MT プリンセス・エンプレス号



油流出状況 モニタリング

衛星データ



MT プリンセス・エンプレス号

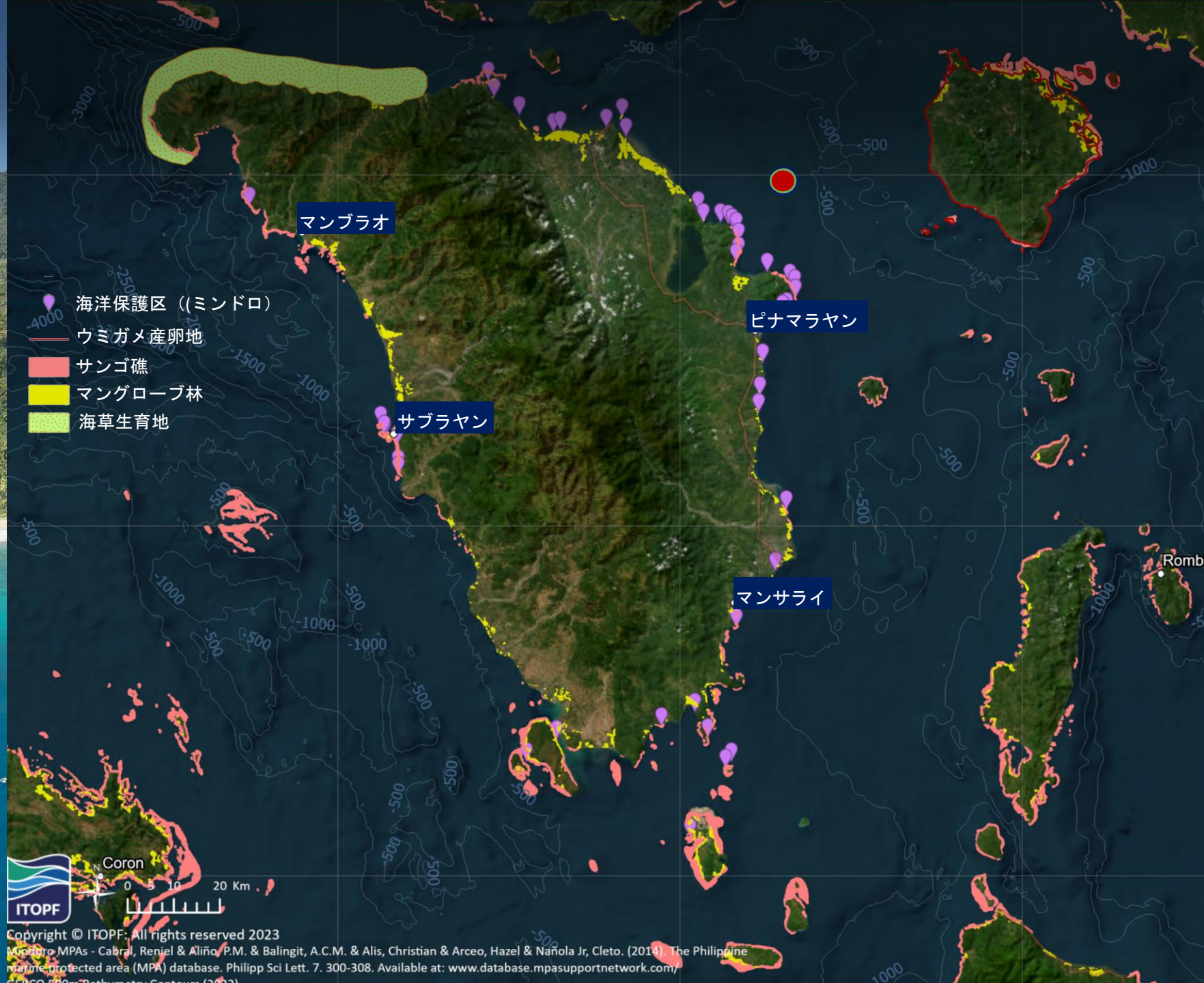
油流出状況 モニタリング

モデリングデータ

海上 での対応



環境感受性



ITOPFは環境感度マップを作成し、事故がもたらす生態系リスクの特徴を明らかにした。

環境感受性

マングローブ林



社会・経済的感受性

漁業と観光



海岸線の調査

東ミンドロ

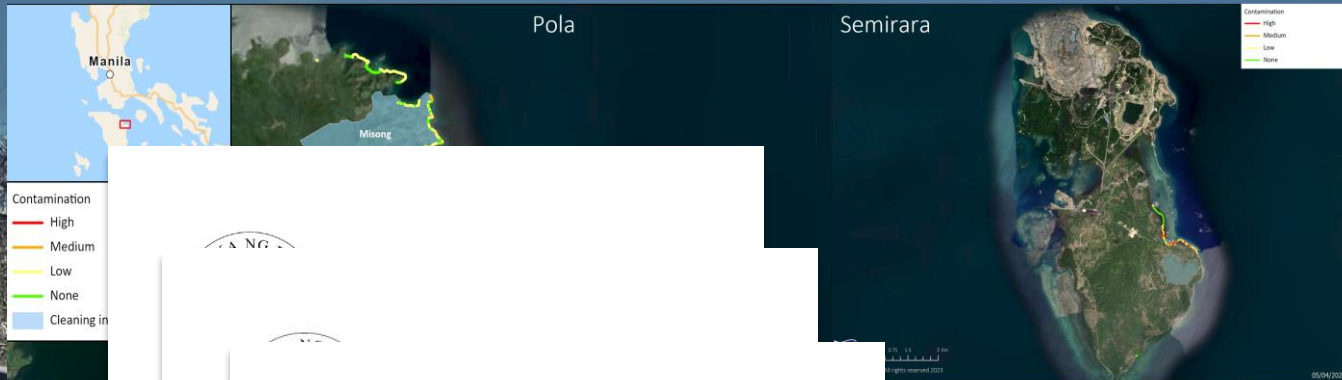




西ビサヤ

海岸線の 調査

海岸線の調査報告



- Contamination
- High
- Medium
- Low
- None
- Cleaning in



PRINCESS EMPRESS INCIDENT, THE PHILIPPINES

NATIONAL SHORELINE CLEAN-UP PLAN

Initial Draft: 29th March 2023



Segment	Oil Intensity	Sensitivity	Notes
1	Low	High	Length: ~ 120 m Lightly oiled: • Stains on pebbles and cobbles • No pooled oil noted Oily waste debris present in this area. Continuous to patchy stains and coats on rocks.
2	Low	High	Length: ~ 80 m Moderately oiled: • Covers on pebbles and cobbles • Oiled organic materials noted on the backshore Some oil present within the pores of the coarse sediment.
3	High	High	Length: ~ 20 m Heavily oiled: • Organic matter and natural debris • Cobbles and pebbles Continuous 20m band of heavily oiled debris and sediment. Liquid oil is present escaping from between the pores.
4	Low	High	Length: ~ 200 m Lightly oiled: • Tar balls • Heavy staining on the strandline • Sporadic oiled debris Frequent occurrences of oil-impregnated sand, oiled plastic waste and debris.

EXTENT OF OIL

SITE Segment: Sabang F / Oonong A – B
Barangay: Tinogboc

DATE 08/03/2023

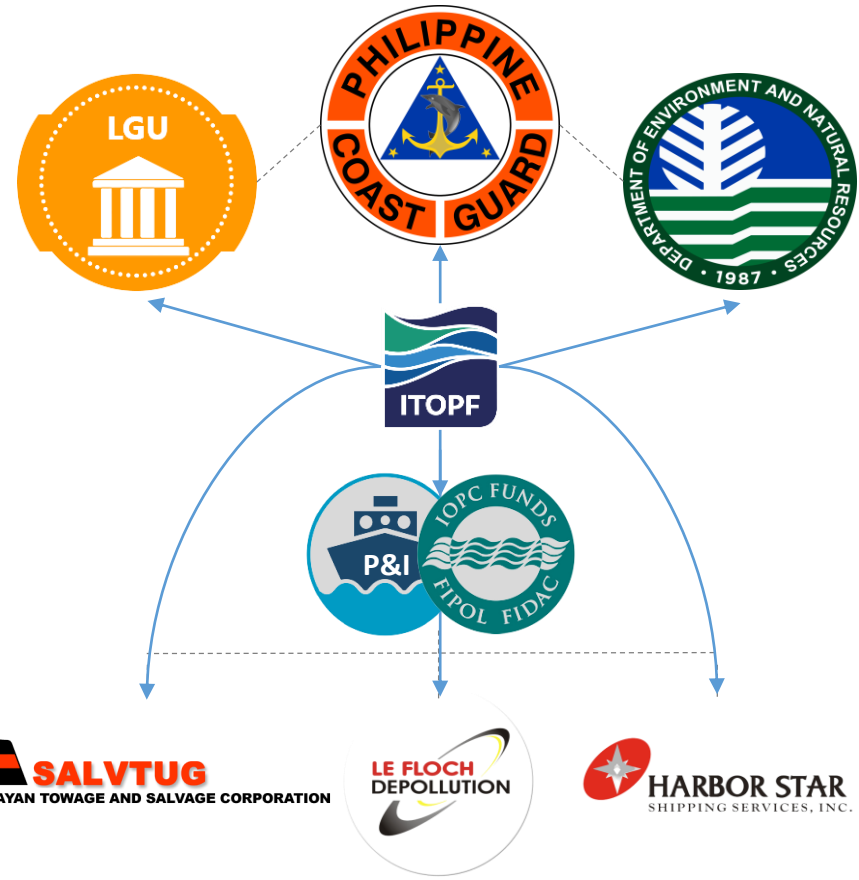
SURVEY START LOCATION Lat: 12°02'27.3"N
Long: 121°24'55.1"E

TOTAL LENGTH Segment: 1.40 km
Surveyed: 1.40 km

NOTES Site is difficult to access – have to climb over large boulders to get from one beach to another. Some access routes available for fit and active responders. Further south cannot be surveyed due to no access by foot. High energy environment and therefore difficult to bring equipment via boat.



事故対応 体制





海岸線での 対応

緊急時のPCGによる対応





海岸線での 対応

請負事業者による対応



第一段階:

バルク除去

手作業による回収

第二段階:

残油除去作業

低圧フラッシング



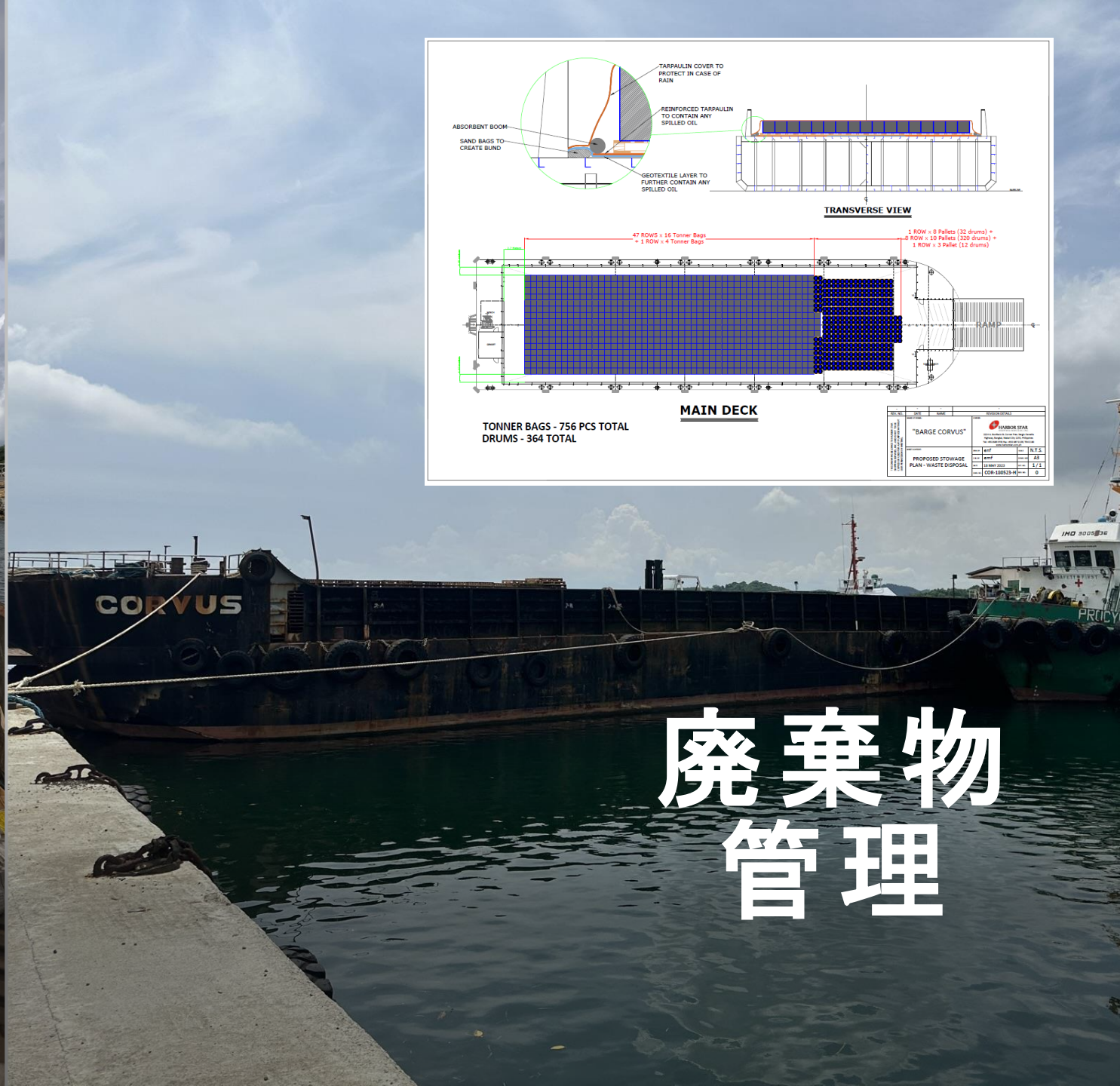


第二段階： 残油除去作業

手作業による清掃



清掃処理作業の 経過



廃棄物 管理

マングローブ林



石油 vs 清掃
作業に及ぼす影響

ロジスティクス



多数のアクセス困難な現場

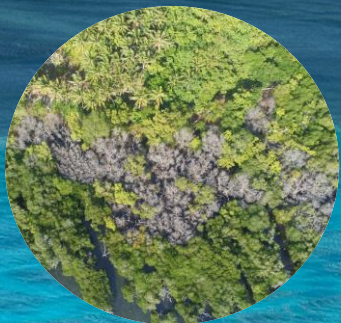
課題

廃棄物管理



複雑なロジスティクスと
不明確な枠組み

マングローブ林

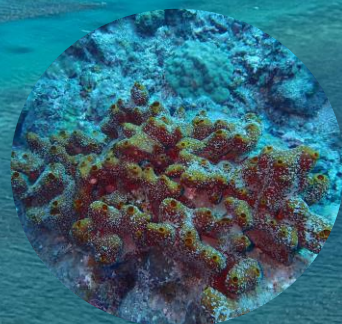


環境への被害



迅速な評価

サンゴ礁



岩礁の多い
海岸



藻場



魚類の安全性
化学分析



求償

処理事務所

漁業・養殖への 経済的影響



対応

人員等の補填



現地漁業 被害の評価 査定



まとめ

ITOPFの役割と貢献



効果的な対応の
促進



求償の分析



能力の
構築・向上



環境への影響
評価

ありがとうございました